



第3章 計画の基本方針



第3章 計画の基本方針



1 岐阜市の緑

本市は、岐阜県南部に位置しており、清流長良川をはじめとする大小の河川による「水」と市街地から眺望できる金華山、百々ヶ峰等の「山」の緑につつまれた恵まれた自然環境にあり、岐阜城、加納城等の史跡、川原町や中山道をはじめとする古いまちなみなど歴史的な遺産も多く残されています。また、市街地周辺には一団の農地があり、水源涵養や遊水機能などグリーンインフラを活用した防災・減災機能を有しています。市街地には、街路樹や緑道、河川などの水と緑のネットワークのほか、緑の拠点として公園緑地が整備されており、環境面やレクリエーション利用面、防災面、景観面で機能を発揮しています。

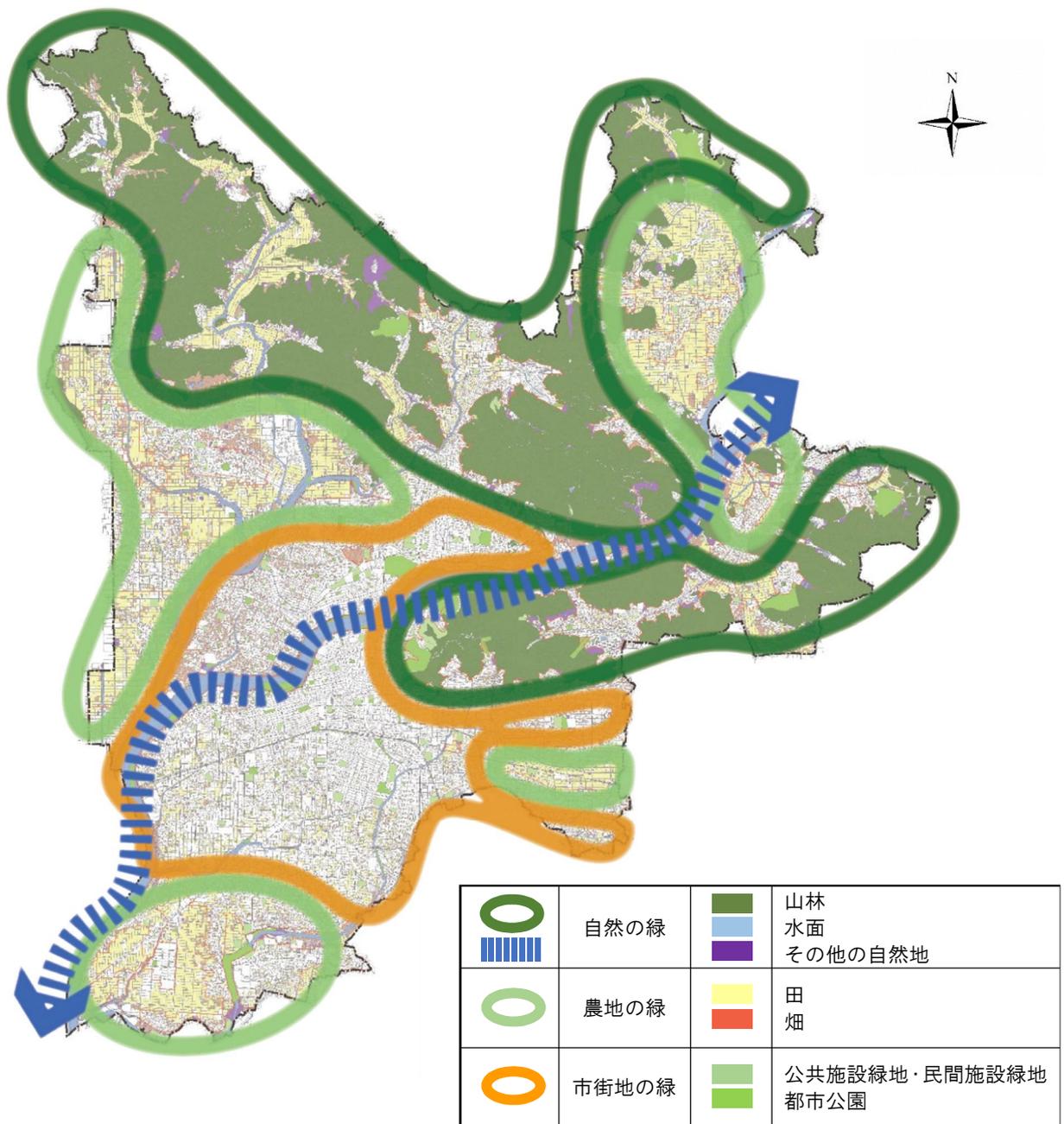


図 3-1 岐阜市の緑の特徴





自然の緑



長良川



金華山と岐阜公園 三重塔

- ④ 骨格を形成している自然の緑地
- ④ 金華山に代表される山（森林）
- ④ 長良川に代表される河川
- ④ 金華山+長良川が都市のシンボル
- ④ 市域の約 35%を占めている山林と河川
- ④ 市街地後背の広大な森林があり、市内どこからも山や川を見たり、感じたりできる環境
- ④ 借景としての緑は重要、心のよりどころ（落ち着く）
- ④ 古墳や城跡など歴史的価値が高い緑



農地の緑



市街地周辺の農地

- ④ 市街地周辺に広がる一団の農地
- ④ 市域の約 20%を占めている農地(内、約 60%が農振農用地)
- ④ 水田のほか、栽培が盛んである枝豆、イチゴ、柿などの特産品
- ④ 水源涵養や遊水機能など、グリーンインフラを活用した防災・減災機能を有している農地



市街地の緑



岐阜駅北口駅前広場

- ④ 快適な生活環境を支える緑地
- ④ 緑の拠点をつなぐ街路樹や緑道
- ④ 潤いや安らぎ、にぎわいを形成する公園や緑地
- ④ 延焼防止機能など、グリーンインフラを活用した防災・減災機能を有している公園や街路樹



2 基本理念

本計画の基本理念は、緑の持つ様々な機能や本市の緑に関する課題等を踏まえ、以下のように設定します。

《計画の基本理念》

本市は、岐阜県南部に位置しており、長良川をはじめとする大小の河川による水と市街地から眺望できる金華山、百々ヶ峰等の山の緑につつまれ恵まれた自然環境にあり、岐阜城、加納城等の史跡、古いまちなみなど歴史的な遺産も多く残されています。

一方、本市は県庁所在都市であり、中部地方における政治・経済・文化の中核としての発展が期待されています。

また、「緑」は、地球温暖化の防止、都市防災性の向上など様々な機能を持っています。

こうした状況を踏まえて、本市においては、

- ①長良川、金華山に代表される恵まれた自然の緑や歴史・文化・農の緑を後世に引き継いでいくとともに、
- ②県都にふさわしい賑わいや魅力、交流を演出する緑の創出や、
- ③市民の生活環境を支える緑の質的向上と再生を、
- ④市民と行政が一体となって進めていくことにより、
「潤いのある快適な都市空間の形成」を目指します。

緑は、都市環境の保全・改善、健康レクリエーションや交流の場、都市防災性の向上、景観形成など様々な機能を有しています。近年では、少子高齢化社会の到来や環境ニーズへの高まりにより、生物多様性の保全、健康増進や交流の場としての活用などへの対応も重要となってきています。

そうした中、本市では、恵まれた自然環境の保全だけでなく、公園や広場、河川沿いの緑地や街路樹など各種の緑の量的、質的な拡充を図ってきました。県庁所在都市であり、中部地方における政治・経済・文化の中核としての発展が期待されている本市では、「岐阜市未来のまちづくり構想」において、本市の将来像を「人がつながる 創造が生まれる しなやかさのあるまち」と設定し、良好な都市空間づくりにおける緑に関するまちづくりの方向性として、「憩い・潤い・安らぎのある緑のまちへ」等を位置づけています。

今後の緑づくりにあたっては、これまで保全整備されてきた緑の継承と、緑の有する多機能性を最大限引き出していけるような適切な緑の保全、整備、維持管理、育成を行い、市民生活の豊かさにつなげていくことが大切となります。地域の特性に合わせた公共、民有地の緑化や公園の再生を図るとともに、市民や地域団体、企業、行政など多様な主体との連携や協働の取組を推進していきます。

こうした状況を踏まえ、本市における緑づくりの方向性、緑の将来像、基本方針を次のように設定します。



●●● 緑づくりの方向性



1 骨格となる緑の保全、整備

- ・本市固有の緑の保全
- ・生物多様性への配慮

2 水と緑のネットワーク形成

- ・道路や水路、公園の整備と活用
- ・居心地が良く歩きたくなるまちなかの実現
- ・市街地の景観形成

3 にぎわいの創出

- ・中心市街地の緑の拠点及び軸の充実
- ・観光、スポーツ拠点としての機能強化

4 感性の醸成、緑化意識の高揚

- ・環境教育の充実
- ・緑化イベントや講習会の開催

5 ストックの活用

- ・利用ニーズの変化への対応
- ・既存公園の再生と維持管理の充実
- ・立地適正化計画との整合

6 災害への対策

- ・延焼防止するオープンスペース
- ・防災ネットワークづくり
- ・災害対応施設の充実



3 緑の将来像

本市の緑豊かで恵まれた自然環境を次代へと継承するため、緑の将来像を下記のとおり定めます。

緑の
将来像

清流と深緑の山々に恵まれ、緑とともに暮らす快適都市・岐阜

長良川の清流と金華山や市街地を取り囲む山々の緑など豊かな自然環境の保全と市街地の緑化推進、公園の再生等による緑の質的向上を図り、緑の有する多機能性を活用することにより、賑わいや潤いのある快適な都市を目指します。

本市の骨格となる緑は市街地後背の森林や農地、市域中央部を流れる清流長良川により構成されます。緑の拠点には、地域を代表する公園や公共施設の緑が位置づけられ、これらの拠点等を河川や道路沿いの緑によって結び、水と緑のネットワークを形成します。中心市街地は、賑わいの緑、交流の緑のエリアで構成される“都市の軸”として、重点的に緑化の推進を図っていきます。周辺市街地は、快適な市街地環境を形成する緑、郊外の市街地の緑はゆとりある居住環境を形成する緑として構成します。

これらを踏まえ、緑の将来像を実現するための3つの基本方針を下記に示します。

基本
方針

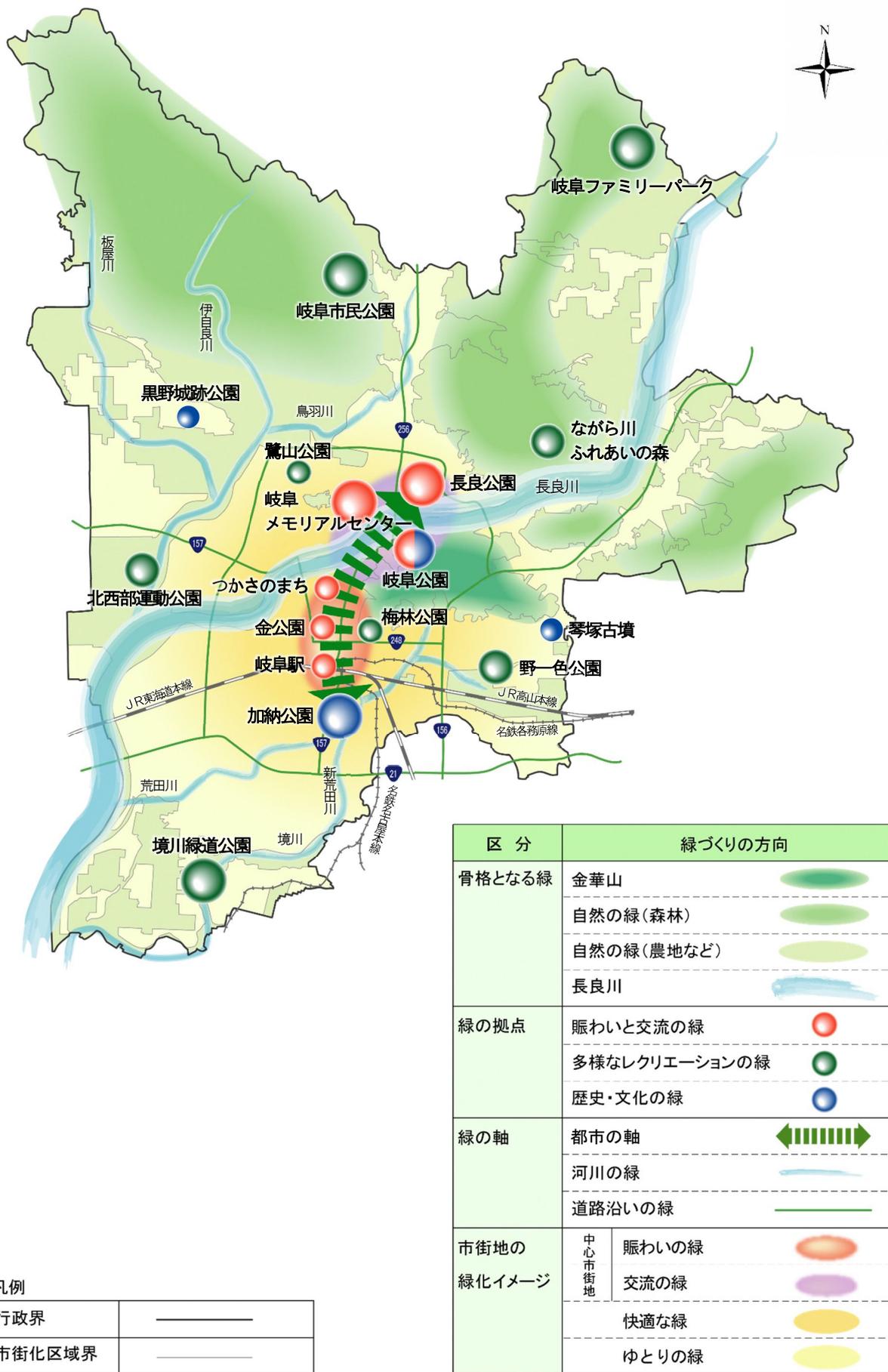
緑のまちづくりの3つの基本方針

- ❖ 方針1 長良川、金華山に代表される自然、歴史・文化・農の緑の継承
- ❖ 方針2 快適な生活環境を支える緑の質的向上と再生
- ❖ 方針3 賑わいと交流を引き出す緑の活用



長良川と金華山





凡例

行政界	
市街化区域界	

図 3-2 緑地配置方針図

4 緑のまちづくりの3つの基本方針

基本方針

長良川、金華山に代表される自然、歴史・文化・農の緑の継承

●本市の緑の骨格となる緑の継承

清流長良川と山頂に岐阜城を頂く金華山の風景は、本市のシンボルともいえるかけがえのない財産であり、本市の緑の骨格として保全し、後世に確実に継承していきます。さらに市域には、百ヶ峰をはじめ市街地背後の山並みを形成する森林や、伊自良川、境川などの河川、郊外部に広がる農地などの緑が豊かに存在し、環境保全や災害防止などに重要な役割を果たすとともに地域固有の景観を構成しており、継続的な保全を図ります。



岐阜城

●貴重な自然や歴史・文化を伝える緑の継承

社寺境内林など歴史・文化を伝える緑は、都市や地域の個性を彩る重要な緑といえます。そのため、これら現存する緑について適切な保全、継承に努めるとともに、自然や歴史・文化とふれあう地域資源として活用を図ります。また、生物多様性の保全と再生に向けて、貴重な自然の保護や外来種対策に取り組みます。



真長寺

基本方針

快適な生活環境を支える緑の質的向上と再生

●多様なレクリエーション需要への対応

岐阜ファミリーパークをはじめとする本市を代表する大規模公園は、市民の多様なレクリエーションニーズへの対応や、災害時の防災活動拠点としての機能強化など、施設の充実と運営の魅力化、効率化を図ります。必要に応じて、地域団体との連携や協働などに取り組み、Park-PFI制度等の導入などを検討します。

身近な公園緑地の整備と活用については、「コンパクト+ネットワーク」の考えでまちづくりを行う「岐阜市立地適正化計画」に基づいて、地域に適した公園整備や維持管理を図っていきます。

また、公園緑地の維持管理については、「岐阜市公園施設長寿命化計画」のもと、安全性の確保及びライフサイクルコスト縮減を図りながら、改善が必要と判断された公園施設の適切な維持管理を行います。



岐阜ファミリーパーク（総合公園）



岐阜市民公園（総合公園）



●水と緑のネットワークの形成

都市レベルでの水と緑のネットワークの主軸として、緑の骨格である長良川のほか、本市の緑地拠点となる大規模な都市公園などを結ぶ伊自良川、境川などの主要な河川を「主なネットワーク軸」と位置づけます。地域レベルでは、これら主軸との連携を考慮しながら、地域生活拠点などのまちづくりと一体的に、幹線道路や中小河川などの地域資源を活かしたネットワーク形成を図ります。

水と緑のネットワーク形成にあたっては、避難路や延焼防止帯としての防災機能や、ビオトープによる環境保全機能など、水と緑のネットワーク化による多様な機能の充実に配慮します。公園などの整備、維持管理にあたっては生物多様性に配慮します。



ビオトープ（宮上公園）

●市街地緑化の推進

グリーンインフラによる美しい景観形成、沿道環境の保全、道路利用者の快適性の確保等のため、街路樹の適正な維持管理や計画的な再生に取り組み、道路空間や地域の価値向上を図ります。

また、ヒートアイランド対策、生物多様性への配慮、防災面でのメリットなど、安全で潤いのあるまちづくりに市街地内の緑は欠くことができません。官民協力により、公共施設の緑化とあわせて民有地の緑化を推進します。



本郷町ケヤキ並木

基本方針

賑わいと交流を引き出す緑の活用

●中心市街地におけるにぎわいと交流の緑づくり

「岐阜駅周辺」から「つかさのまち」にかけての中心市街地では、公共施設の再整備や市街地再開発事業の展開に合わせて都市に賑わいを創出する緑づくりを進めます。

岐阜公園一帯では清流長良川や金華山の緑の保全とともに、市民や観光客などが長良川、金華山の自然や城下町の歴史・文化に間近でふれあい、親しみや安らぎを感じられるよう、長良川プロムナードや岐阜公園などの整備・充実、及び歴史的まちなみと調和した緑化などを進め、都市の交流空間の緑として充実を図ります。

また、両地区には、岐阜駅北口駅前広場、金公園、みんなの森 ぎふメディアコスモス、岐阜公園など緑の拠点となる主要な公園緑地や公共施設が存在しています。それらを街路樹や河川・水路などで結ぶことにより水と緑のネットワークを形成し、“都市の軸”として位置づけ、周辺住民や来街者、観光客など多様な人々が緑の中で「まちなか歩き」などを楽しめる空間づくり（ウォーカブルなまちなか形成）を推進します。



金華橋通り



金公園

● 緑への関心を高める情報の発信や緑化を支援する仕組みづくり

緑の活用を推進するには、市民に緑への関心を高めてもらうことが大切であり、緑についての理解を深める環境学習や緑化イベントの開催、緑に関する情報の発信や交流の場づくり、緑のまちづくりを支援する仕組みづくりなどの施策展開を図ります。



フローラリー岐阜（長良公園）

＜SDGs（持続可能な開発目標）の達成に向けた取組＞

本計画においても、誰一人取り残さない社会の実現を目指すSDGsの理念を踏まえ、SDGsの考え方を取り入れた持続可能な緑のまちづくりに貢献していきます。

特に本計画に関連すると考えられるゴール（目標）について、以下に示します。



ゴール(目標)	SDGsの詳細	ゴール(目標)	SDGsの詳細
	あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し、福祉を促進する		すべての人に包摂的かつ公正な質の高い教育を確保し、生涯学習の機会を促進する
	すべての人々の水と衛生の利用可能性と持続可能な管理を確保する		すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する
	包摂的かつ持続可能な経済成長及びすべての人々の完全かつ生産的な雇用と働きがいのある人間らしい雇用(ディーセント・ワーク)を促進する		強靱（レジリエント）なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る
	各国内及び各国間の不平等を是正する		包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する
	持続可能な生産消費形態を確保する		気候変動及びその影響を軽減するための緊急対策を講じる
	陸域生態系の保護、回復、持続可能な利用の推進、持続可能な森林の経営、砂漠化への対処、ならびに土地の劣化の阻止・回復及び生物多様性の損失を阻止する		持続可能な開発のための平和で包摂的な社会を促進し、すべての人々に司法へのアクセスを提供し、あらゆるレベルにおいて効果的で説明責任のある包摂的な制度を構築する
	持続可能な開発のための実施手段を強化し、グローバル・パートナーシップを活性化する		

